

(様式4)

平成28年11月22日

平成28年度 第2回 大阪市立 港 中学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立港中学校
 校 園 長 名 大 塚 英 雄

日 時	平成28年11月17日 午後7時00分～午後7時40分	
場 所	大阪市立港中学校 多目的室	
出席者	委員 など	松尾フサ子(会長) 村田靖子(副会長) 石川忠秀(委員) 西澤恵子(委員) 辻精二(委員) 小田典子(委員) 井上悦治(委員) 中戸育代(委員) 宮本隆司(委員) 北野加代子(委員)
	校 園	大塚英雄(校長) 福山和夫(教頭)
	区役所	花立都世司(港区役所協教育担当課長)
議題	(1)平成28年度「運営に関する計画(自己評価)の中間評価」についての説明 (2)平成28年度「運営に関する計画(自己評価)の中間評価」についての意見交換 (3)学校アンケート(生徒・保護者・教職員)結果について (4)「全国学力・学習状況調査」の結果について (5)学校の現状について (6)その他	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 大塚校長より説明を行った。 大多数の項目においてB「目標通り」、A「目標を上回っている」が5項目、C「目標通りにできていない」が3項目5となっている。特にA項目、C項目が付されている状況の説明を行った。 (3) 生徒アンケート「学校が楽しい」の肯定的回答が80%を超えた。「授業がわかりやすく楽しい」および「先生が教え方を色々工夫している」「相談にのってくれる」「公平に接してくれる」等の肯定的回答も昨年を大きく上回っている。 (4) 平均正答率は全国および大阪市平均を下回っており、平均無回答率は大きい。少人数授業、放課後学習および家庭学習の意識付けの成果が少しずつ出ている。 (5) 生活指導面で問題が発生している。帰宅後、住宅近辺や公園に集まってしまう迷惑、ゴミの散らかしが起きている。放課後、教員により見回りも行っている。学校の周囲の変則交差点の安全確保が重要である。 (6) ・道徳の必修化に向けての取り組みとして、本講でも全学年・クラスで公開授業を行った。 ・ICTの活用しての授業は今後の課題である。	(2) (3～6の意見交換も含む) ・「運営に関する計画(自己評価)の中間評価」の内容および説明について承認された。現在中間報告段階であり、年度末に向かって取り組みを進めて欲しい。 ・学校アンケートについて、多くの質問項目で27年度よりも向上している。 ・行事が盛り上がりそう。部活動が充実して仲が良い。来年度から始まる学校調理方式による給食に期待している。服装等の規則は生徒の健康面にも配慮して欲しい。 ・生徒同士で切磋琢磨している様子も見られる。学力および体力の向上が学校としての目標である。卒業生の先輩による講演会を実施しての学校生活の啓蒙に役立てている。 ・部活動の生徒が周辺の奉仕活動をよくしてくれている。子ども達の生命に危険が及んでは大変であり、地域としても見守っていく。地域の思いがより届くように指導して欲しい。 ・ICTモデル校ではタブレット活用の事例もある。家庭で携帯を所持している子どもも多く、情報モラル教育も大切である。
協議 資料	○平成28年度「運営に関する計画(自己評価)中間評価」 ○学校アンケート(生徒・保護者・教職員)アンケート結果 ○「全国学力・学習状況調査」の結果、 ○平成29年度港区学校選択制希望調査状況	
備考	傍聴者[0]名	